

ほくりくみらい基金

2023年度助成

「次のステップ」
助成プログラム
事前説明会・相談会





今日の流れ

1. ほくりくみらい基金の紹介
2. 助成プログラムの説明
3. 全体で質疑応答
4. 相談会タイム



今日の流れ

1. ほくりくみらい基金の紹介
2. 助成プログラムの説明
3. 全体で質疑応答
4. 相談会タイム



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

石川を拠点とするコミュニティ財団です。

地域のお金や意志を循環させて

市民の課題解決や新しい挑戦を応援します。

コミュニティ財団とは

個人

個人の財産・遺産を基金とする

ビル&メリンダ・ゲイツ財団

自治体

自治体（国）などが主に出資して設立する財団

公益財団法人大野からくり記念館、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団

企業

企業が主体で出資して設立する財団（主に株式）

トヨタ財団、ニッセイ財団など

市民

地域の個人・企業・団体などが共同で出資し、合議して地域のために活動する

公益財団法人長野県みらい基金、一般財団法人世田谷コミュニティ財団

「コミュニティ財団」は地理的な「コミュニティ＝地域」を特定して、複雑かつ重層的に絡み合う地域の諸課題を包括的な視座に立って事業対象とします。また、予防的な対応を含む有効な事業に対して、資金をはじめとする資源を仲介・提供し、ひいてはその地域内の多様な背景をもつ住民の暮らしの質を高めるために貢献する組織、ともいえます。

事業内容としては、概ね寄付等の仲介を行い、特定の個人や法人等が設立する基金のほか、テーマを特定して複数の寄付者の資金を集める基金等を設置・運用し、資金提供者の意向を活かした資金を提供します。また、資金提供に付帯する形で、組織の基盤強化にむけた取組みとして、事業計画の策定、会計処理、ボランティア・マネージメント、チームビルディング等の支援を行っているケースもあります。

これまでの経緯



「ほくりくみらい基金」準備委員会発足

11月23日ー12月23日のあいだ基金
拠出金と发起人募集のクラファン
で、255人から290万5000円を調達

一般財団法人 ほくりくみらい基金設立

2022/07

2022/11/26

2022/05/16

2022/11

2023/4/3

休眠預金活用事業により、全国コミュニティ財団より財団設立のための基盤整備の助成内定（2310万円助成）

「基金設立シンポジウムー石川に新しいお金の流れを作ろう」開催

ほくりくみらい基金 3つの活動の柱

1

地域課題の可視化と
じぶんごと化

- 課題はつながっていることも多くある。勉強会や聞き取り調査などを通して、地域課題と私たち一人ひとりとのつながりをわかりやすく整理し、発信。市民が課題解決に関われるよう、イベント参加・寄付・ボランティア、インターンなど、応援できるしくみを提供

2

支援・助成の選択肢
を増やし、ハードル
を下げる

- 国や自治体の支援は課題が顕在化し、広く地域で認識されないと期待できない。「課題に気づきいち早く解決に挑戦する人」や、「これまでにない新しい取り組み」を支えたいという志のある人や団体から支援金を募り、課題解決に挑戦する人のもとへ、助成金として提供

3

お金を起点に社会資本（応援団）と学び
を創る

- 資金助成に加えて、助成団体の人材育成や組織運営も支援。また、地域や企業の人々と一緒に課題への理解を深め、一人ひとりの学びにより、多くの人々が解決に関わってくれるようなつながりを育てます。組織やセクターにとらわれない、自由度の高い活動で、多様な関係者をつなぎ大きな社会的インパクトを創出

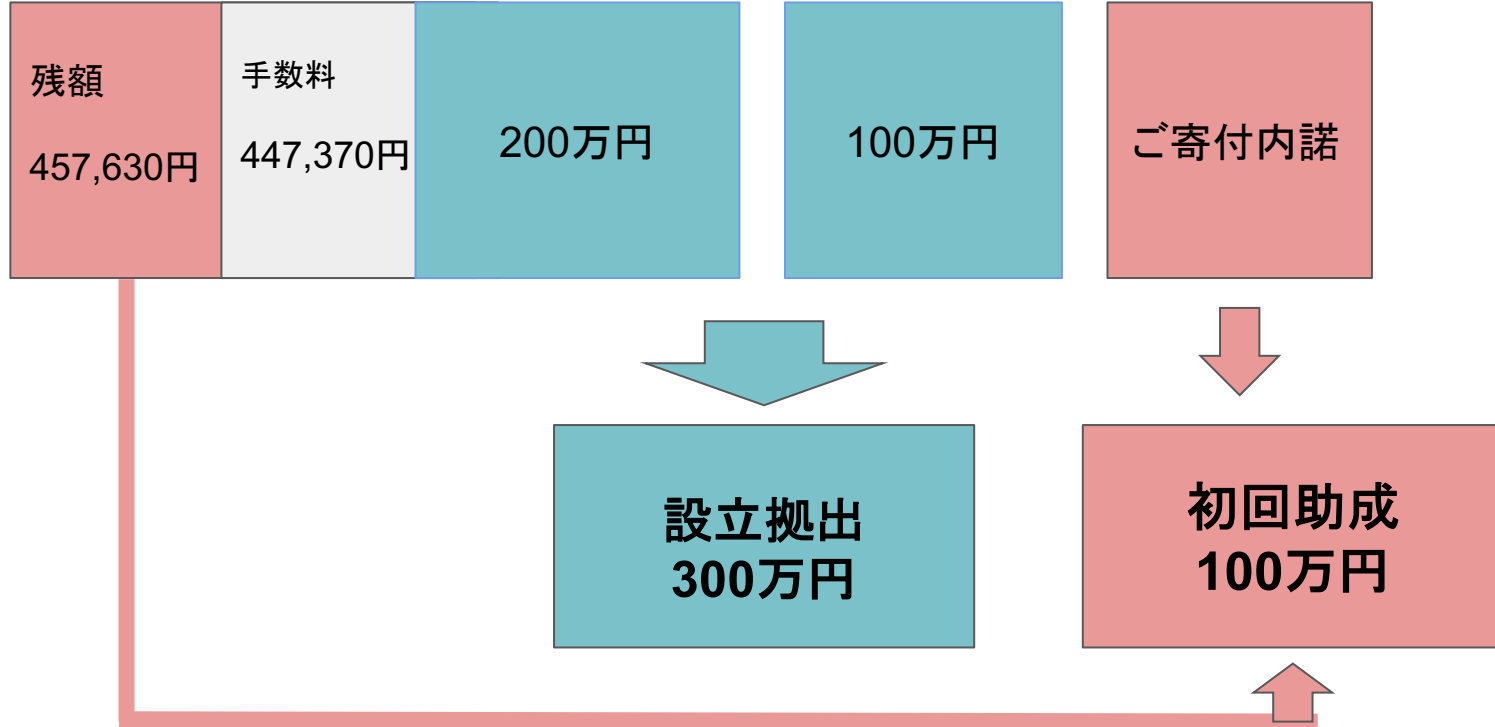
今回の助成原資



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

クラファン 2,905,000円

その他のご寄付から





今日の流れ

1. ほくりくみらい基金の紹介
2. **助成プログラムの説明**
3. 全体で質疑応答
4. 個別相談会



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

2023年度助成

「次のステップ」助成プログラム

石川県で、地域のさまざまな課題に取り組みはじめた方々が、活動を継続・発展させ、

それぞれにとっての「次のステップ」へすすむために、必要な基盤を強化することを支援します。



2023年度助成

「次のステップ」助成プログラム

<企画の背景>

石川県内で活動している団体みなさんにヒアリング



「活動をはじめるとはできたけれど、この活動をどう継続し、
どう発展させていくのか、どうすすんでいけばいいのか
悩んだ／悩んでいる。そのサポートが欲しい」



2023年度助成

「次のステップ」助成プログラム

助成金支給の前に、「ほくみの学校」という学びの場



今後活動を続けていくにあたっての指針を手に入れ、

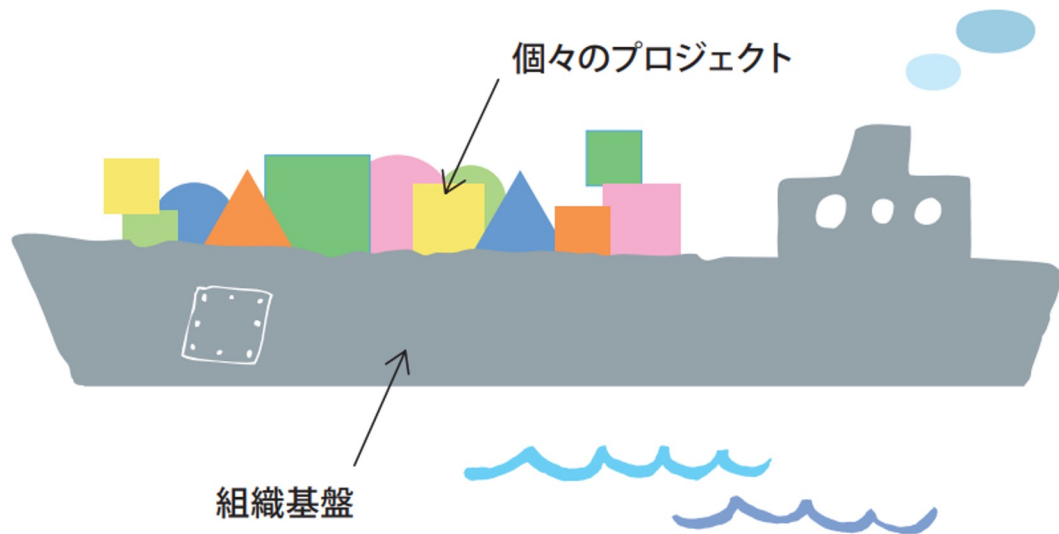
“次のステップへ進むために、

それぞれにとって必要な基盤強化とは何か”を明らかにします。

ほくりくみらい基金も、共に悩み、共に考え、サポートします。



組織基盤(船)が強化されないまま
個々のプロジェクト(積荷)ばかりが
一見豪華になっていないか。⇒不安定





対象となるテーマ

石川県内で

「**地域課題の解決**」「**課題当事者の支援**」「**ピアサポート**」の
3つの領域のいずれかに取り組んでいる団体の

1.事業をよりよくするための取り組み

2.事務や運営体制をよりよくするための取り組み

- 例)
- ・メンバー間で共通のビジョンをつくる
 - ・全スタッフが活動をわかりやすく他者に説明できるよう、研修を実施する
 - ・ボランティアスタッフを募集して事務局を強化する など

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
説明会														
申し込み			ほくみの学校 (全4回)											
					助成金 申請	審査	実践期間					報告書	発表会	

- 前半の「ほくみの学校」と後半の「実践期間」の二段階構成
- 助成金を受けるためには、前半の「ほくみの学校」の受講が必須条件
- 「実践期間」では、「ほくみの学校」を通して明らかになった次のステップのための取り組みに対し、助成金を支給します。
- 「ほくみの学校」に参加後、「実践期間」に進む際には、改めて**申請書の提出**をお願いします。**審査後、支給決定**を行います。



対象となる組織

以下の1,2をともに満たす個人・組織が対象です。

1. 石川県内に本拠地を置き、かつ石川県内を活動対象地域としていること
2. 助成対象となる活動がすでにあり、開始から2年未満であること
※申請締切日基準

- 法人格の有無や種類は問いません。個人での活動も対象とします。
- 上記1,2を満たさないが応募を希望する場合は、この後の相談会でご相談ください！



「ほくみの学校」 (全4回対話型ワークショップ)

- ・ これまで取り組まれてきた分野の現状分析
- ・ 地域ならではの課題把握
- ・ ロジックモデルの作成 などを通して、
今後の活動や組織の方向性を検討します。



「次のステップ」のためにどんな取り組みをするべきか
共に学ぶ仲間、講師、ほくみメンバーとともに考えましょう！



「ほくみの学校」 （全4回対話型ワークショップ）

＜ワークショップ全回共通の流れ＞

- ①講師の話聞く
- ②各自ワークに取り組む（考える・手を動かす）
- ③参加者同士で共有・深める

★参加者同士での学び合いや、十分なフォローアップの観点から対面参加のみとさせていただきます。



「ほくみの学校」 (全4回対話型ワークショップ)

会場：ほくりくみらい基金オフィス (金沢市兼六元町)

●第1回 : 8月24日(木) 13:00~16:00

講師 : ほくりくみらい基金メンバー

テーマ : 「顔合わせ・市民活動と地域のリソース紹介」
「ステークホルダー分析をしてみよう」

●第2回 : 9月27日(水) 13:00~16:00

講師 : 畑憲司さん (企業コンサルタント・ネイチャー&ストラテジー代表/金沢大学エグゼクティブ コーディネーター)

テーマ : 「自身の事業と石川県の状況を重ねてみよう」
(PEST分析・SWOT分析など)



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

「ほくみの学校」 (全4回対話型ワークショップ)

会場：ほくりくみらい基金オフィス (金沢市兼六元町)

●第3回 : 10月26日(木) 13:00~16:00

講師 : 丸谷耕太 (金沢大学融合研究域融合科学系准教授/ほくりくみらい基金理事)
テーマ : 「ビジョンとミッションをつくろう」

●第4回 : 11月 (日付調整中) 13:00~16:00

講師 : 調整中
テーマ : 「ロジックモデルにしてみよう」

※各回、事前課題があります。



助成金について

助成金申請の条件

- 1)原則として、前半の「ほくみの学校」全4回に参加すること
- 2)事業・会計報告の作成、報告会への参加、その他当基金との対話を継続すること

選考方法

- ・提出された申請書に基づき、有識者で構成された選考委員会にて選考を行います。
- ・選考過程では追加の団体資料の請求や事務局による応募団体へのヒアリングを実施する場合があります。

助成金について



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

選考基準（2023年12月審査時）

- 1) 応募する組織が「対象となる組織」の要件を満たしているか
- 2) 助成金によって組織の基盤が大きく強化されるか
- 3) 応募する組織が行う取り組みは、ほくりくみらい基金の掲げる「助成への思い」に合致しているか
- 4) 応募する組織が行う取り組みは地域課題の解決に大きく貢献するか



助成金について

＜助成金額と使いみち＞

1団体への助成金額 10万円～50万円（※助成総額100万円）

助成金は、「ほくみの学校」で明らかになった次のステップへの取り組みに必要な経費に使用可能です。ただし、物品購入・工事・改修費用のみの申請は認めません。

▼対象となる費用（費目）

人件費※、講師謝金、会議費、機材・什器・備品購入費、広告宣伝費、交通費、通信費、印刷費、工事改修費など

※人件費は助成申請金額の30%を上限とします。人件費とは、原則として代表者、スタッフ等の稼働にかかる報酬全般をさします。



「ほくみの学校」出席のための交通費支給について

ガソリン代・公共交通費の実費のみ支給します。

1団体の支給上限額は以下の通りです。

- 金沢市、野々市市、かほく市、津端町、内灘町：上限 4,000円
- 上記以外：上限16,000円

※駐車場代は支給しません。

※「ほくみの学校」全日程終了後、所定の交通費精算申請フォーマットで申請いただきます。



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

申込はフォームより受け付けます！

<申込受付期間>

2023年6月1日（木）

～ 2023年7月31日（月） 23:59 必着

※ 「ほくみの学校」への参加は10団体を目安とします。

応募団体数が10団体を超えた場合には、2023年8月初旬～中旬に面接を実施する場合があります。



今日の流れ

1. ほくりくみらい基金の紹介
2. 助成プログラムの説明
3. **全体で質疑応答**
4. 相談会タイム



今日の流れ

1. ほくりくみらい基金の紹介
2. 助成プログラムの説明
3. 全体で質疑応答
4. **相談会タイム**